

きょうの面紙

東金市/東金駅東口の
新改札整備に約2億円

かずさ水道補正/設備
等更新に債務2.7億円

東総広域水道予備
注設備更新に債務



25年7月に設計・工事
に着手。31年1月の稼働開
始を目指す。債務負担行為
の内訳は、本体工事約4.9
1億円、高規格堤防工事約
5億円、管理棟改修工事約
4億円、20年間の運営費約
250億円。
斎場は、大野町4-2-6
10-1の敷地面積1万9



受け、本契約に至る予定
だ。28年度の新施設完成を
目指す。
新規事業をみると、本八
幡駅北口駅前地区市街地再
開発事業に4億160万円
を計上。宮田小学校建替事
業に7200万円を措置す
るとともに、24、25年度を
期間とする限度額1億68
建設地は南田公園の西側に
位置
56.56㎡、延べ床面積1
071.5㎡、高さ9.5
mの計画。基礎工法はベタ
基礎。
建築計画に関する連絡
は、設計者の自社船橋支店
一級建築士事務所(船橋市
夏見1-1-1、電話04
7-411-3141)ま
で。
トンオアシス大塚(一般廃
棄物最終処分場)搬入道路
44m整備工事費77万7
000円を盛り込んだ20
24年度当初予算案を上程
し、可決された。
一般会計は、対前年度当
初比2%減の16億2386
万8000円。

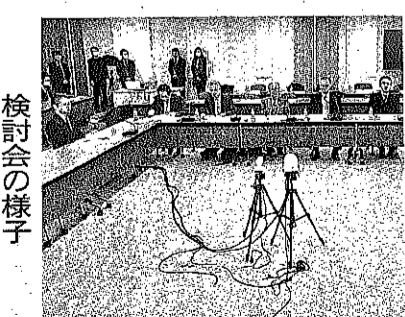
県コンクリート製品協組

「事例対処法」などで総括
IT活用・DX化セミナー
千葉県コンクリート製品
協同組合(寺田裕之理事
長)は1月30日、千葉市内
の組合会議室において「第
8回IT活用・DX化の進
め方セミナー」(総括)を
行い、5社から7人が受講
した。千葉県中小企業団体
中央会の協力による組合等
新分野開拓支援事業(全8
回)の最終回。IT活用・
DX化の進め方及びノウハウ
等の習得についてをテー
マに、組合員からヒアリン
グした事例の対処法などを
報告した。講師は、まつい
マサシメントオフィス代表
で、中小企業診断士・IT
コンサルタントの松井淳氏
が務めた。
3社で2回ずつ
ヒアリング実施
昨年6月に開いた第1回
セミナーでは、IT活用・
DX化の進め方及びノウハ
ウなどの習得について、経
営の効率化に向けたIT活

用・DX化を進めるため、
基礎知識やノウハウなどを
解説。受講した組合員(代
表的な3社)の取り組み状
況として、業務プロセスに
よるITの活用・現状につ
いて、7月から12月につ
いて6回(月1回、3社2回
ずつ)にわたりヒアリング
を実施。今回はITの取り
組みに関して、その内容
を、①営業・販売の工場・
製造②経営・管理③コミュ
ニケーション④ITの
5つの分野に分け、現状と
課題についてまとめ直した
もの。
高齡化進む業界で
コンピュータ対策
講義に先立ち寺田理事長
は、建設DXについて「極
いは、建設DXについて「極
いは、建設DXについて「極
いは、建設DXについて「極

寺田理事長
講師の松井・中小企業診断士
「ト」二次製品の千葉県にお
けるIT化の現状と課題を
はじめ、今後の有意義な取
組みへのアイデアを報告
書のかたちでまとめた」と
説明。「本日は前半部分で
報告書の内容を共有するが
たちで進め、後半は具体的
な質問を受けて、今後の業
界での取り組みについて意
見交換ができれば」と述
べ、講義へと移った。
【第8回IT活用・DX化
の進め方セミナー受講者】
▽寺田裕之(株)テラコ
ン▽寺田玲寛(同)▽齊
藤均(千葉建設業)▽斎
藤潤(三洋コンクリート
工業)▽糸日谷和男
(同)▽北村盛治(北村コ
ンクリート工業)▽林
謙二(株林建材)▽太田大
介(千葉県コンクリート製
品協同組合)

「新しい成田空
床面積100~



した。
そのほか、地域や社会と
の連携拠点としての役割、
災害に強い高レジリエンス
ターミナル、旅客ターミナ
ルのネットゼロ化などを掲
げた。
今後は、3月に第7回、
4月に第8回を開催する予
定だ。